

千葉南高校 保健室だより

令和2年度 第5号

さてさて、今回の保健室だよりもゲストさん出演の第2弾だよ！！

筆者はこの4月に南高に赴任された、大学卒業してすぐのフレッシュな若手の遠藤広大先生だよ。

《先生からの自己紹介》

担当科目：英語科 趣味は音楽鑑賞と料理

今年度からお世話になります。学校再開後にみなさんに会えるのを楽しみにしています…！

阪急電車—片道15分の軌跡—

早速ですが、今まで観た映画の中で『自分の人生を好きになる為のヒント』をくれた作品を紹介します。

それは三宅喜重監督の『阪急電車—片道15分の軌跡—』です。

有川浩さんの連作短編小説を元に作られました。

兵庫県の宝塚市の阪急宝塚駅から西宮北口駅までの片道15分という短い路線を舞台に、沿線を利用する人々のそれぞれのエピソードや葛藤、繋がりを描いた人情ドラマのような作品です。

普段自分が電車に乗っていて、同じ車両に乗り合わせた人々も、見ず知らずの人がほとんどで、どんな過去を生きてきてどんな悩みを抱いていて、今何を考えているかなんて気にもしませんでしたが、この作品を見て、電車に乗ることがとても楽しみになりました。

みんなクールな顔をして電車に乗っていても、恋人と喧嘩している最中かもしれなかったり、この人はどんな人生を歩んできたのだろうと気になったり…。

電車って様々な人生の一場面が交錯する素敵な場所だなどこの作品を見て感じました。

今なぜその人が電車を利用するのか、考えるのがとても楽しくなりましたし、色々な人生があるんだと、改めて自分の今までを振り返り、過去の自身の失敗や過ちも許せるような心温まる作品です。

沿線住民にスポットを当て、いろいろなストーリーが同時に進んでいくのであつという間に観終わってしまいます。

コロナの影響で在宅中の今、心をリフレッシュするためにぜひ観てみてください。



保健室からのおまけ

遠藤先生からのおすすめの「阪急電車」は、私は映画は見えていないけど本で読んでいました。私にとってもこの作品はとても好きな本の一つです。著者の有川浩さんの作品は、私が元気をもらいたい時に読むジャンルとして大切なものです。彼女の本は、人と人との関係がなんだか素敵だなんて思わせてくれるものがたくさんあります。うちの蔵書には有川さんの著書が多分15冊ちょっとあります。保健室だよりのバックナンバーでも何冊か紹介させていただいていますので、もしお時間があつたら過去のおたよりも南高のホームページから辿ってみてくれると嬉しいな(*^_^*)